



## グローバル人材を育成する「現代日本学プログラム」を創設（お知らせ）

### 概要：

北海道大学は、外国人留学生を対象とした4年間の学士課程である「現代日本学プログラム」を新たに創設します。本プログラムは、現代日本の社会や文化に関心を持つ留学生を広く世界に求め、十全な英語能力と極めて高い学力を有する留学生に対して、基礎・教養科目を英語で実施するとともに、徹底した日本語教育を実施し、同時に現代日本の社会や文化に関する理解を深めるための教育を行います。日本社会に対する優れた見識を有し、日本社会のみならず国際社会においても真に日本のよきパートナーとして活躍するグローバル人材を養成する教育プログラムです。

平成26年(2014年)10月より初級日本語教育を行う入学前準備教育としての予備課程が開始され、本課程が平成27年(2015年)4月から開始されます。なお、平成25年(2013年)10月21日(月)より募集受付を開始しました。

### 現代日本学プログラムの内容：

組織：外国人留学生を対象とする学士課程プログラム。定員は1学年20名。

開始時期：現代日本学プログラム課程は平成27年(2015年)4月、予備課程は平成26年(2014年)10月から開始。

※予備課程では、学士課程入学前の6ヶ月間、基礎的な日本語能力を身に付けるための初級日本語教育を行います。入学試験の際に、すでに一定程度の日本語能力があると判断された学生は、予備課程が免除される場合があります。

出願期間（インターネット上での出願登録期間のみ記載）：

第1期：平成25年(2013年)10月21日(月)～平成25年(2013年)12月2日(月)

第2期：平成26年(2014年)1月10日(金)～平成26年(2014年)3月3日(月)

※参考URL：現代日本学プログラムウェブサイト

<http://www.oia.hokudai.ac.jp/mjsp/>（英語）

<http://www.hokudai.ac.jp/international3/ryugaku/folder907/folder908/post-45.html>（日本語）

### お問い合わせ先

北海道大学国際本部・副本部長 川野辺 創

TEL: 011-706-8003 FAX: 011-706-8037 E-mail: s.kawanobe@oia.hokudai.ac.jp

(参考)

現代日本学プログラム課程への入試に関する資料は、英語版が正式な資料であり、日本語による本資料は正式なものではありません。概要を把握するための参考としてご参照ください。

## 平成 27 年度（2015 年度）

### 北海道大学私費外国人留学生（現代日本学プログラム課程）入試基本方針

#### 1. 対象プログラム

現代日本学プログラム課程

#### 2. 趣旨・目的

現代日本学プログラム課程では、現代日本の社会や文化に関心を持つ留学生を広く世界に求め、十全な英語能力と極めて高い学力を有する留学生に対して、徹底した日本語教育を実施し、同時に現代日本の社会や文化に関する理解を深めるための教育を行います。それによって、日本語と英語を高度に運用する能力と日本社会に対する優れた見識を有し、日本社会のみならず国際社会においても真に日本のよきパートナーとして活躍する教養豊かなグローバル人材を育成することを目的としています。

#### 3. 求める学生像

- ・日本語および日本文化・社会について学ぼうとする強い意欲を有する者。
- ・社会科学、人文科学の諸領域（法学、政治学、経済学、経営学、教育学、哲学、歴史学、文学、心理学、社会学等）のいずれかを学ぶことを欲する者。
- ・多文化・多言語環境の中で学ぶことを欲する者。
- ・将来、日本文化の研究者や、社会・人文諸科学の知識を基盤とした国際社会のリーダーとなり、母国と日本社会の懸け橋となることを志望する者。

#### 4. 募集人員

| 課 程          | 募 集 期 | 募集人員  |
|--------------|-------|-------|
| 現代日本学プログラム課程 | 第 1 期 | 12名程度 |
|              | 第 2 期 | 8名程度  |

※ 第 1 期募集において、募集人員を満たさなかった場合、その欠員は第 2 期の募集人員に加えます。

#### 5. 入学時期

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| 現代日本学プログラム課程 | 平成 27 年（2015 年） 4 月  |
| 予備課程         | 平成 26 年（2014 年） 10 月 |

※ 現代日本学プログラム課程は 4 年間の学士課程です。

※ 予備課程は、学士課程入学前の 6 か月間、基礎的な日本語能力を身につけるための初級日本語教育を行います。

※ 入学試験の結果、予備課程が不要と判断された場合は、現代日本学プログラム課程へ直接入学することができます。

## 6. 出願資格・要件

出願することができる者は、日本国籍を有しない者で、かつ、次に掲げる基礎資格及び要件に該当するものとします。(※日本国の永住許可を得ている者は出願できません。)

(1) 基礎資格：次のいずれかに該当すること。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに修了見込みの者<sup>注1</sup>
- ② ①に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの<sup>注2</sup>
- ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
- ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
- ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
- ⑥ 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本国内に設置された教育施設であって、その教育活動等について、ウエスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ (WASC)、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル (ACSI) 又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ (CIS) の認定を受けたものに置かれる 12 年の課程を修了した者又は平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに修了見込みの者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

(注1) 「12 年の課程」には、我が国の学校教育法に基づく課程によるものも含まれる。

(注2) 「①に準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの」には、次に掲げる者が該当する。

- a 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
- b 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

- c 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の課程を修了した者又は平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに修了見込みの者で、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
- d 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の課程を修了した者で、上記（注 2）b の準備教育を行う課程を修了し、かつ、18 歳に達したもの及び平成 26 年（2014 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

(2) 要件：次に掲げるいずれかの要件に該当すること。

- ① 英語を母語とする者又は英語による中等教育を受けた者。
- ② 英語を母語としない者で英語以外の言語による中等教育を受けたものにあつては、TOEFL-iBT, TOEFL-PBT 又は IELTS を受験し、TOEFL-iBT の得点 79 点以上、TOEFL-PBT の得点 550 点以上又は IELTS のスコア 6.0 以上であること。（送付書類受領期限から遡って 2 年以内に受験したものに限り。）

(3) その他

国家試験等の統一試験がある国では、その統一試験を受験していることが望ましい。

## 7. 入学者選抜方法

出願書類（成績証明書、Personal Statement 等）の審査及び面接の結果を総合して選考を行います。

## 8. 出願期間

(1) 第 1 期募集

インターネット上での出願登録期間

平成 25 年（2013 年）10 月 21 日（月）～平成 25 年（2013 年）12 月 2 日（月）

インターネット出願登録後の送付書類受領期限

平成 25 年（2013 年）12 月 20 日（金）

(2) 第 2 期募集

インターネット上での出願登録期間

平成 26 年（2014 年）1 月 10 日（金）～平成 26 年（2014 年）3 月 3 日（月）

インターネット出願登録後の送付書類受領期限

平成 26 年（2014 年）3 月 20 日（木）

9. 面接試験日

面接は下記期間内に行います。

各受験者の面接日時等は，出願後に通知します。

(1) 第1期募集

平成26年(2014年)1月20日(月)～平成26年(2014年)1月27日(月)

(2) 第2期募集

平成26年(2014年)4月21日(月)～平成26年(2014年)4月28日(月)

10. 合格発表日

(1) 第1期募集

平成26年(2014年)2月12日(水)(予定)

(2) 第2期募集

平成26年(2014年)5月下旬(予定)